

災害対策地理空間情報活用セミナーのご案内

【開催趣旨】

昨年3月11日午後に発生したM=9.0の東北地方太平洋沖地震では、複数の都県が同時被災した超広域災害が発生しました。複数の都県が同時被災する災害は戦後初めてであり、国の関わり方も含めて、直後の応急対応から長期的な復興まで災害対応に関してさまざまな新しい課題が生じました。去る5月17日～19日にかけて、当北海道GIS・GPS研究会においては、東北地方被災地訪問視察団を結成し、宮城県庁、東北大学、国土地理院東北地方測量部に情報交換をし、仙台市を始め石巻市、南三陸町、気仙沼市、陸前高田市、大船渡市を訪問し、震災から1年以上経過した被災地の現状を視察してまいりました。そこで、視察に参加した北海道GIS・GPS研究会メンバーから報告をいただくとともに、同時期に岩手県の被災地を視察された小樽商科大学社会情報学科准教授の深田秀実氏に報告をいただく運びとなりました。更にこの視察では、災害時の個人情報の取り扱いが重大な課題とわかりましたので、基調講演に宇治市西宇治図書館館長の青木和人氏をお迎えして、個人情報の問題や被災位置特定の精度向上について等、地理空間情報の最新活用事例も伺います。皆様方におかれましては、ご多用の折とは存じますが、多数ご出席賜りますようお願い致します。

記

【日時】平成24年6月29日(金)13:00開場 13:20～15:50

【会場】かでの2・7 710会議室

(札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル 7F TEL 011-204-5100)

【プログラム】

13:20～15:10

基調講演 「行政における地理空間情報の最新活用動向」

災害時における被災位置特定の精度向上について



宇治市教育委員会 西宇治図書館館長 青木 和人氏

立命館大学大学院公務研究科非常勤講師、立命館大学歴史都市防災研究センター客員研究員、地理情報システム学会 教育委員会副委員長、同代議員。2010年立命館大学大学院文学研究科人文学専攻博士課程後期課程修了。博士(文学)。専門領域は自治体GIS、地理情報科学、地理学。

東北地方被災地視察報告

14:10～14:25 「東北地方被災地視察の意義と概要報告」

(株)ヒューネス代表取締役 赤淵 明寛氏

14:25～14:45 「地理空間情報を活用した防災コミュニケーションツールの必要性

～東北地方被災地を視察した結果をふまえて～」

(株)シン技術コンサル 空間情報部課長 佐藤 潤氏

14:45～15:00 「宮城県の避難対策について」

北海道大学大学院文学研究科教授 橋本 雄一氏

15:00～15:20 「岩手県における被災地の復興と地理空間情報の役割」

小樽商科大学社会情報学科准教授 深田 秀実氏

15:20～15:35 「津波ハザードマップ作成マニュアルと避難誘導システムの開発」

北海道大学大学院文学研究科教授 橋本 雄一氏

15:35～15:50 質疑 応答

参加費：官公庁・自治体職員・学生：無料

一般；3000円、北海道GIS・GPS研究会、Digital北海道研究会会員：2000円(資料代)

参加費振込先：北洋銀行 本店営業部 (普)1822587 北海道産学官研究フォーラム 宛

共催予定：北海道GIS・GPS研究会；Digital北海道研究会；地理情報システム学会北海道支部

後援：国土地理院北海道地方測量部、北海道開発局、北海道

連絡先：北海道産学官研究フォーラム / 北海道GIS・GPS研究会(担当 藤原)

〒007-0803 札幌市東区東苗穂3条1丁目2-7-105 TEL:011-787-7650 FAX:011-787-7655 E-mail:

お申込みは、平成24年6月26日(火)までに下記事項をご記入のうえFAXまたはE-mailでお願い致します。

【参加申込書】

平成24年6月29日(金)の「災害対策地理空間情報活用セミナー」に参加します。 FAX 011-787-7655

所属名		部署・役職		氏名	
住所		Tel		Fax	
				E-mail	

個人情報保護について

お申込の際にご登録いただきましたお名前、所属、連絡先については、本セミナーの出席登録にのみ使用します。